

令和3年第5回庄原市教育委員会 会議録

- 1 日 時 令和3年4月21日(水) 午後1時26分開会
午後3時07分閉会
- 2 場 所 庄原市役所 本庁舎5階 第2委員会室
- 3 出席委員 教育長職務代理者 末信 丈夫
教育委員 横山 和明、立花 有佐、神本 久美
- 4 欠席委員 なし
- 5 出席職員 教育部長 片山 祐子
教育部教育総務課長 亀山 慎也
教育部教育指導課長 東 直美
教育部生涯学習課長 今西 隆行
教育部教育総務課総務係長 森田 一徳
教育部教育指導課学事係長 高淵 直哉
教育部教育指導課指導係長 辻坊 健作
- 6 傍聴人 なし
- 7 議事日程
- 日程第1 教育部長報告
- 日程第2 議案第26号 庄原市奨学金貸付審査会委員の委嘱について
- 日程第3 議案第27号 庄原市就学指導委員会委員の委嘱について
- 日程第4 議案第28号 庄原市博物館・資料館の新たな在り方基本計画(第3期)の策定について
- 日程第5 個別報告及び協議事項
- ① 令和3年度教育委員会会計年度任用職員の任用について
 - ② 学校における働き方改革取組方針について
 - ③ 令和3年度各課・室事務分掌について
 - ④ 令和3年度における重要課題及び留意事項について

教育長職務代理者	<p>— 開会 午後1時26分 —</p> <p>ただ今から令和3年第5回庄原市教育委員会を開会します。 教育長不在ということで、代理で進めます。よろしくお願ひします。</p>
教育部長	<p>日程第1 教育部長報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 口和小学校の開校式、各学校の入学式について ・ 中学校卒業生の進路について ・ 臨時市議会について ・ 新型コロナウイルスについて
教育総務課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校施設・設備の充実 ・ 遠距離通学児童生徒への支援 ・ 学校給食の充実 ・ 幼稚園教育の支援 ・ 奨学金制度による修学支援 ・ 高校教育振興事業への支援 ・ 入学祝金 ・ 庄原市立学校適正規模・適正配置基本計画に基づく取り組みの推進 ・ 主な会議・行事等
教育指導課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 確かな学力定着・向上 ・ 生徒指導対策 ・ 外国語教育推進 ・ 読書活動推進 ・ 特別支援教育推進 ・ 児童・生徒の動向について ・ 教職員の動向について ・ 主な会議・行事等
生涯学習課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯学習・社会教育の充実 ・ 芸術・文化の推進 ・ スポーツの推進 ・ 家庭・地域の教育力の向上 ・ 各種行事等
	<p>日程第2 議案第26号 (非公開)</p> <p>庄原市奨学金貸付審議会委員の委嘱について</p>
	<p>日程第3 議案第27号 (非公開)</p> <p>庄原市就学指導委員会委員の委嘱について</p>

	<p>日程第4 議案第28号</p>
	<p>庄原市博物館・資料館の新たな在り方基本計画（第3期）の策定について</p>
<p>教育長職務代理者</p>	<p>議案第28号、庄原市博物館・資料館の新たな在り方基本計画（第3期）の策定について議題とします。事務局より議案の説明をお願いします。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>生涯学習課から説明します。議案集5ページをお開きください。議案第28号、庄原市博物館・資料館の新たな在り方基本計画（第3期）の策定についてです。提案理由のとおり、庄原市博物館・資料館の新たな在り方基本計画（第3期）を策定するあたり、教育委員から承認を求めようとするものです。別冊資料で説明します。まず、経過については、計画素案を生涯学習課と各博物館・資料館の館長、担当者と協議検討を重ねる中で策定し、2月の運営協議会、教育委員会で、途中経過報告後、2回の検討部会、2回の担当者会議、また内部協議を経て策定したものです。それでは主な点について説明します。1ページから4ページについては、3期計画の趣旨、2期計画の概要を記載しています。令和2年度で2期計画が終了することから、3期計画を策定したものです。2ページの下段に、2期計画の体系図を記載しています。2期計画においては、博物館機能、資料の収集保管、調査研究、教育普及等、連携相手に教育、自治、観光をそれぞれ定め、その縦軸横軸で該当する事業展開を図ったものです。これを示すことにより、目標が明確となり、事業を実施しやすくなったと考えています。5ページから18ページまでは、2期計画の成果と課題を記載しています。5ページをお願いします。表の下段、各館との連携については、継続性がD評価となっています。D評価というのは改善継続となっていますが、このことは、3期でも課題として挙がっています。全体の検証については19ページに記載しています。全123事業のうち、高い有効性99%、現状継続以上97%と評価できています。引き続き、3期についても、継続的に取り組んでいきたいと考えています。先程のD評価については、各館と支所、本庁との連携が不十分だったということで、今年度以降、定期的に連絡調整会議等を開催していきたいと考えています。20ページには、ここ10年間の入館者の推移を示しています。計画を策定する前、平成22年度は9,193人となっていますが、1期計画2期計画を策定する中で、安定して1万人以上の入館者を得ています。今後も、安定的な入館者となるよう事業に取り組んでいきたいと考えています。この入館者の状況からも、計画策定が非常に有効的であったと考えています。21ページには、1期計画の基本理念を、今回、再掲しています。表の中の1番上段に、現状と課題としていますが、もともと博物館・資料館機能の低下、施設運営の脆弱化、需要の低下という課題があったため、それを解決するために、1期計画では、課題解決に向けた事業展開、2期計画では、博物館・資料館の将来像、3期計画では博物館・資料館の在り方として計画を策定し、事業実施を図ったものです。しかし、2期計画の将来像の実現と3期計画の在り方については、非常に密接した状況でもあり、3期計画ではこれらを連携した計画としています。23ページには、各館のテーマ、24ページには、各館のビジョン、</p>

ミッションを定めています。このビジョン、ミッションについては、館の将来像と役割を定義する大変重要なことであり、これを明確化することにより、各館の運営方針が定まり、各担当者が目指すべき目標の共有化を図ることができたと考えています。なおこの2期計画で定めた、各館のテーマ、ビジョン、ミッションですが、表記が各館ばらばらだったものを、今回、3期計画で趣旨を変えないよう、同じ体裁に変更して、コンパクトにまとめています。25ページから3期計画の内容となっています。26ページは、基本的に2期計画を踏襲した策定内容となっています。まず基本的業務についてですが、(1)から(3)までが2期計画に記載していた方針、(4)が3期計画で新たに加えた方針、(5)から(9)までは各館ごとの方針を定めています。36ページ以降は、各館ごとの取り組みということで、分かり易く説明しています。主なものですが、36ページの各館共通事項においては、収集保管業務の収蔵資料の整理と保存の3つ目、日常的な点検・清掃、計画的な燻蒸により、資料及び設備の保全に努めていきたいと考えています。この燻蒸業務については、各館が必ず1回はできるよう、実施に取り組んでいます。ちなみに今年度は比和自然科学博物館が燻蒸ということになっています。なかなか予算的に難しいため、各館が概ね6年間で一周するように計画しているところです。38ページ、本庁業務については、基本業務に、各館・支所・本庁が連携した管理運営体制の確立とあります。先程課題にもあったように、本庁と各館・資料館、各支所と連携を図って、事業の問題点などをクリアするため、連携強化を図っていきたいと考えています。40ページ、比和自然科学博物館においては、調査研究業務で中国山地を中心とした研究業務を行っていくとしています。昨年度も、比婆山植物誌を刊行するなど、調査研究を行っているので、引き続き中国山地を中心とした植物であるとか、昆虫であるとかそういった研究業務を図っていきたいと考えています。41ページ、時悠館においては、連携・啓発業務で、帝釈峡遺跡群60周年記念事業を自治振興区と共同で実施していきたいと考えています。今年度が発見の60周年、来年度が発掘調査をして遺跡がわかった60周年ということになるので、来年度に向け、主な大きい事業が展開されると考えています。42ページ、口和郷土資料館においては、教育普及業務で、近隣小学校への学習支援を図っていきたいと考えています。令和元年度までは、館長1人で業務を行っていましたが、令和2年度から会計年度任用職員で、音響の専門的な人を配置しているため、2人で連携し今度は館外に出て、色々な教育普及を展開していくよう検討しているところです。43ページ、庄原市歴史民俗資料館においては、基本業務でガイダンス機能の充実ということで、田園文化センターの中にある歴史資料館について、全体の博物館・資料館のガイダンスを担うことになっているので、引き続き、全館の概要が分かるような展示等整備していききたいと考えています。44ページ、倉田百三文学館においては、資料の収集保管業務で、引き続き、郷土の文豪倉田百三の資料を収集していききたいと考えています。多数ある収集品を展示に生かしていきたいと思えます。以上各館の主な事業を説明しまし

<p>教育長職務代理者 立花委員</p>	<p>たが、今後5年間、この取り組み内容に基づいた事業展開を図っていきます。最後に、45ページ上段の評価については、計画が令和7年度までの5年間としているため、3年経過したときに中間評価を行い、事業の検証などを実施し、よりよい計画となるよう、変更するべきところは変更し、伸ばすべきことは伸ばしていくということで進めていきたいと思っております。説明は以上です。</p> <p>何か質疑があればお願いします。</p> <p>細かい質問ですが、20ページの入館者数の推移というところで、備考で週6日開館と書いてありますが、書いてないところの比和自然科学博物館などは、どうなのですか。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>比和自然博物館については、月曜から金曜日までは、隣接する比和支所に職員が常駐しているので開館日となります。土日は、入館者の受付をシルバー人材センターに委託しており、年末年始以外は、毎日開館していることになるため、開館日は特に記載していません。</p>
<p>教育長職務代理者 教育委員</p>	<p>他に質疑はありますか。ないようですので、議案第28号について採決を行います。賛成される委員は挙手をお願いします。</p> <p>(全員挙手)</p>
<p>教育長職務代理者 生涯学習課長</p>	<p>賛成全員ですので、議案第28号は承認されました。</p> <p>補足ですが、先程シルバー人材センターへ委託していると説明しましたが、基本的には自治振興区へ委託して自治振興区からシルバー人材センターへの再委託ということです。</p>
<p>教育長職務代理者</p>	<p>わかりました。よろしいですか。それでは本日の議案審議については以上です。</p>
<p>日程第5、個別報告及び協議事項</p>	
<p>教育総務課長 教育指導課長 教育総務課長 教育総務・教育指導・生涯学習課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度教育委員会会計年度任用職員の任用について ・学校における働き方改革取組方針について ・令和3年度各課・室事務分掌について ・令和3年度における重要課題及び留意事項について
<p>教育長職務代理者</p>	<p>それでは、以上をもちまして、令和3年第5回教育委員会を閉会します。</p> <p>— 閉会 午後3時07分 —</p>